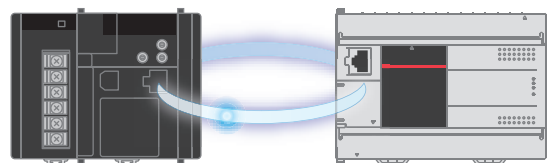


三菱電機 マイクロシーケンサ

MELSEC iQ-F<sub>series</sub>

かんたん接続ガイド  
シンプルCPU通信機能  
オムロン株式会社 CP/CJシリーズ編

---



## はじめに

このたびは、MELSEC iQ-F シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本ガイドは、FX5 CPU ユニットとオムロン株式会社製 CP/CJ シリーズをシンプル CPU 通信機能にて接続するための設定手順、動作確認について記載しています。

本ガイドは通信確立までの接続手順について記載したものであり、接続手順以外の操作、設置、および機器の機能や仕様に関しては記載しておりません。ご使用前に、本ガイドおよび関連製品のマニュアルをお読みいただくか、機器メーカーまでお問い合わせいただき、その仕様を十分ご理解のうえ正しくご使用いただきますようお願いいたします。

## 安全にお使いいただくために

- ・ 本資料に記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をお読みください。
- ・ この製品は一般工業を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- ・ 本製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際は、巻末記載の当社営業窓口まで照会してください。
- ・ 本製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、本製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステムに設置してください。
- ・ 設計上の注意、配線上の注意等に関しましては各関連マニュアルに記載の安全上のご注意をお読みください。

## おことわり

- ・ 製品を設置する際にご不明な点がある場合、電気の知識（電気工事士あるいは同等以上の知識）を有する専門の電気技師に相談してください。この製品の操作や使い方についてご不明な点がある場合は、巻末記載の技術相談窓口へご相談ください。
- ・ 本書、技術資料、カタログなどに記載されている事例は参考用のため、動作を保証するものではありません。ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をお客様自身でご確認のうえ、ご使用ください。
- ・ 本書の内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書に記載されている三菱電機製以外の機器に関しては、マニュアルや取扱説明書などを入手し、安全に関する注意事項や内容をご確認のうえご使用ください。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが巻末記載の当社支社または支店までご連絡ください。その際、巻末記載の資料番号もあわせてお知らせください。

# 目次

はじめに.....	1
目次.....	2
関連マニュアル.....	3
1 概要.....	4
1.1 接続に対応している機器.....	4
1.2 システム構成.....	5
2 CJ2M-CPU34 の設定.....	6
2.1 IP アドレスを設定する.....	6
2.2 CJ2M-CPU34 と接続する.....	7
2.3 FINS/UDP を設定する.....	8
3 FX5S CPU ユニットの設定.....	10
3.1 パラメータの設定.....	10
4 動作確認.....	13
4.1 動作例.....	13
4.2 確認手順.....	13
改訂履歴.....	15
保証について.....	15
商標.....	15

## 関連マニュアル

本ガイドの関連マニュアルは、以下のとおりです。マニュアルは、各メーカーサイトから入手してください。

### ■ 三菱電機

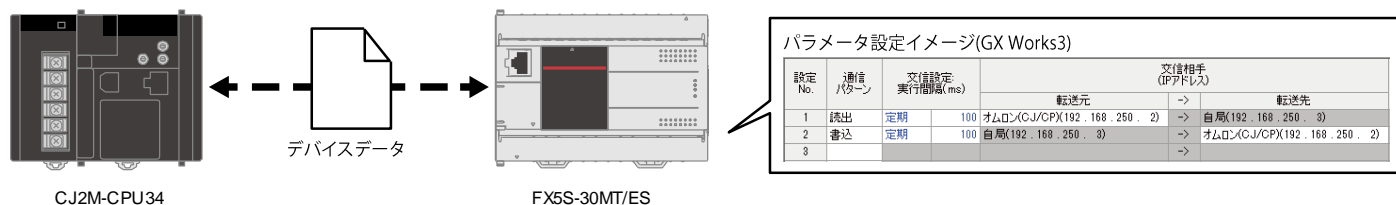
マニュアル名称	マニュアル番号
MELSEC iQ-F FX5S/FX5UJ/FX5U/FX5UC ユーザーズマニュアル(ハードウェア編)	SH-082451
MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(応用編)	JY997D54301
MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(通信編)	SH-082624
GX Works3 オペレーティングマニュアル	SH-081214

### ■ オムロン株式会社

マニュアル名称	マニュアル番号
SYSMAC CP シリーズ CP2E CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	-
SYSMAC CP シリーズ CP2E CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	-
SYSMAC CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編	-
SYSMAC CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	-
SYSMAC CX-Programmer Ver. 9. □ オペレーションマニュアル	-

# 1 概要

FX5 CPU ユニットとオムロン株式会社製 CP/CJ シリーズをシンプル CPU 通信機能にて接続します。シンプル CPU 通信機能は、Ethernet でつながった機器とデータの送受信をする機能です。GX Works3 から簡単なパラメータ設定を行うだけで、任意のデバイスを指定のタイミングで送受信できます。



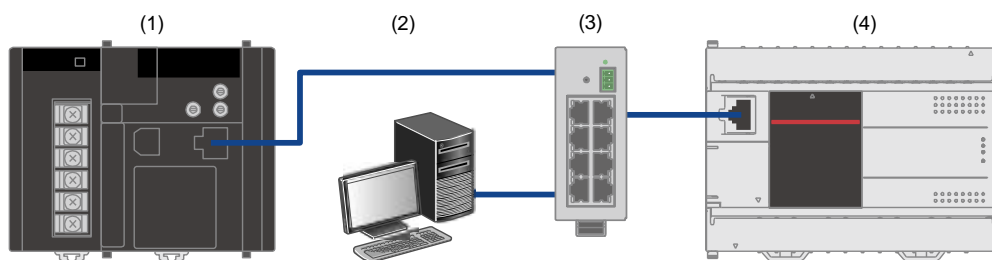
## 1.1 接続に対応している機器

本ガイドで説明するシンプル CPU 通信機能に対応している機器は下記になります。

メーカー	対応機器
三菱電機	FX5U CPU ユニット FX5UC CPU ユニット FX5UJ CPU ユニット FX5S CPU ユニット
オムロン株式会社	CJ2H CPU ユニット CJ2M CPU ユニット CP2E CPU ユニット

## 1.2 システム構成

本ガイドでは、下記のシステム構成を例として説明します。



IPアドレス：192.168.250.2

IPアドレス：192.168.250.3

メーカー	機器/ソフトウェア	形名
(1)	オムロン株式会社 CJ シリーズ	CJ2M-CPU34
(2)	— 設定用パソコン (OS : Windows 10)	—
(3)	— スイッチングハブ	—
(4)	三菱電機 FX5 CPU ユニット	FX5S-30MT/ES ファームウェアバージョン : 1.000 以降
—	三菱電機 エンジニアリングソフトウェア	GX Works3 バージョン : 1.080J 以降 (本ガイドでは, Ver. 1.100E を使用)
—	オムロン株式会社 ソフトウェア	CX-Programmer (FA 統合ツールパッケージ CX-One に含まれます)

### ❖ ポイント

- ・ 機器の IP アドレスはすべて同一のネットワークになるように設定してください。
- ・ ご使用の機器やソフトウェアのバージョンにより使用できる機能や設定が異なるため、本項記載のバージョンを満たした製品を使用してください。お使いの製品のバージョンによって、設定の手順や画面が本ガイドと異なる場合があります。その際は、各メーカーの関連マニュアルやソフトウェア内ヘルプを参照してください。

## 2 CJ2M-CPU34 の設定

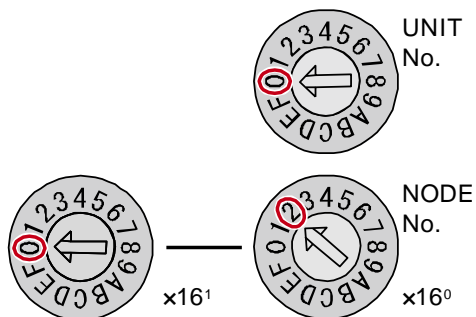
オムロン株式会社製の CX-Programmer にて、CJ2M-CPU34 のパラメータ設定を行います。

### 2.1 IP アドレスを設定する

IP アドレスはユニット前面のロータリスイッチによるハード設定、および CX-Programmer によるソフト設定で行います。

#### ■ ロータリスイッチで設定する

ユニット前面のユニット番号設定スイッチ、ノードアドレス設定スイッチの設定をします。  
ロータリスイッチの設定は電源が OFF の状態で設定してください。



1. "ユニット番号設定スイッチ" を"0" に設定します。
2. "ノードアドレス設定スイッチ" の" x16<sup>1</sup>" を"0" に設定します。
3. "ノードアドレス設定スイッチ" の" x16<sup>0</sup>" を"2" に設定します。

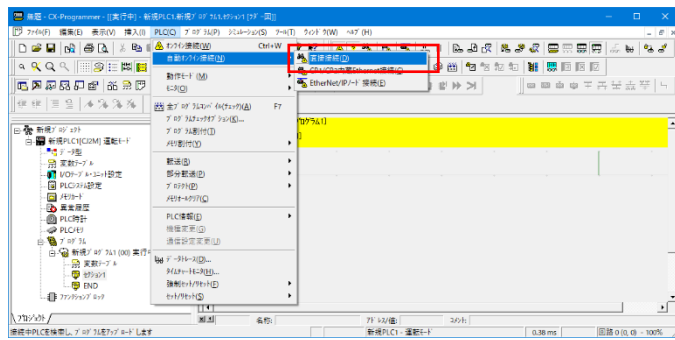
#### ❖ ポイント

パラメータで IP アドレスを設定していない場合、IP アドレスは、上位 3 オクテットは [192. 168. 250] 固定で、ノードアドレス設定スイッチで設定した値が IP アドレスの第 4 オクテットとなります。  
上記の場合ノードアドレスは" 02H" なので、IP アドレスは [192. 168. 250. 2] となります。

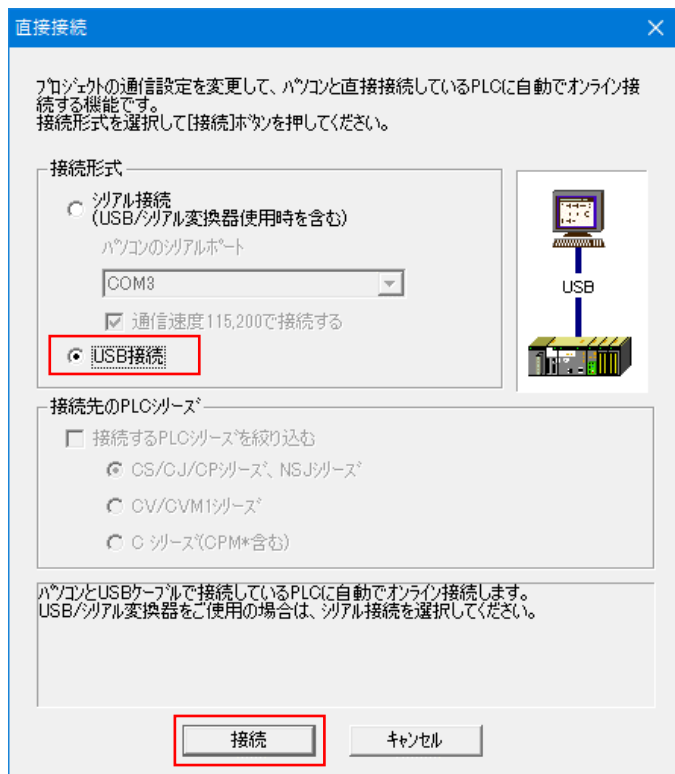
#### ■ CX-Programmer で設定する

CX-Programmer で IP アドレスを指定する手順は、2.3 節の手順 4 を参照してください。

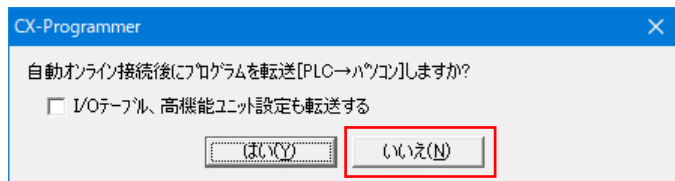
## 2.2 CJ2M-CPU34 と接続する



1. "PLC" から, [自動オンライン接続]→[直接接続] を選びます。



2. "接続形式" から, "USB 接続" にチェックを入れ"接続" を選びます。



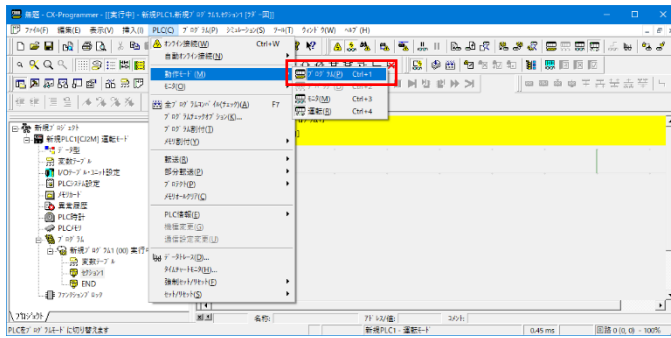
3. "いいえ" を選びます。  
本書では, 新たにパラメータを設定するため, ユニットからデータを読み出す必要はありません。



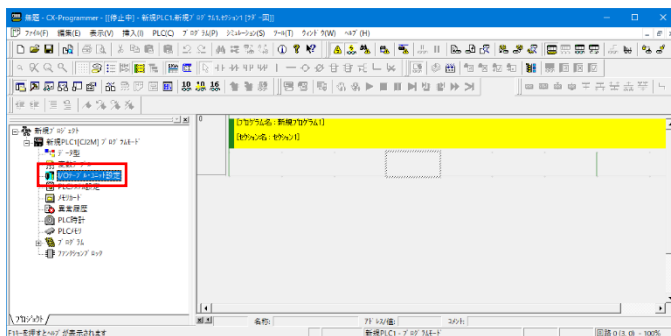
4. 自動接続が実行されます。



## 2.3 FINS/UDP を設定する



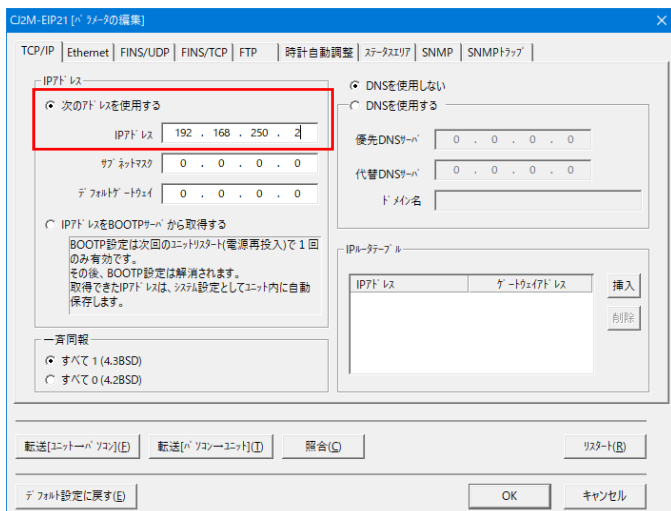
1. "PLC" から、[動作モード]→[プログラム]を選び、プログラムモードに設定します。



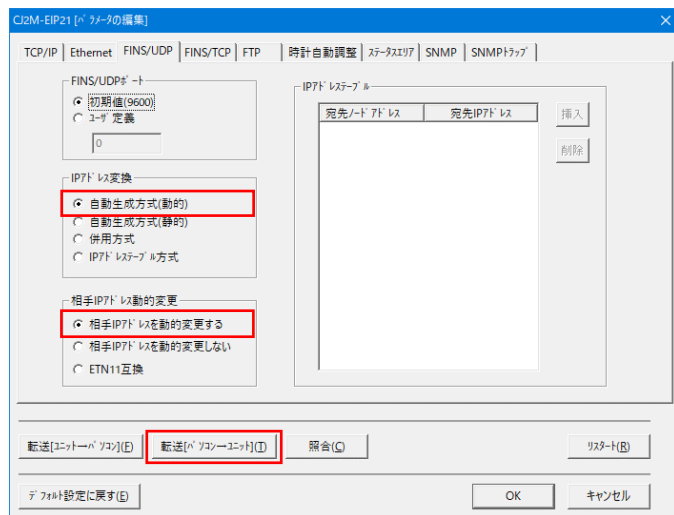
2. "I/O テーブル・ユニット設定" をダブルクリックします。



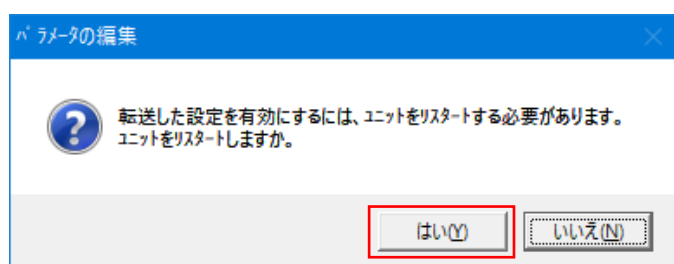
3. "内蔵ポート/インナーボード" → "[1500]CJ2M-EIP21(CJ2M用内蔵EtherNet/IPポート)" をダブルクリックします。



4. "TCP/IP" タブの"IP アドレス"に"192.168.250.2"を設定します。



5. " FINS/UDP" タブをクリックします。
6. " IPアドレス変換" から," 自動生成方式(動的)" を選びます。
7. " 相手 IP アドレス動的変更" から," 相手 IP アドレスを動的に変更する" を選びます。
8. " 転送[パソコン→ユニット]" をクリックします。

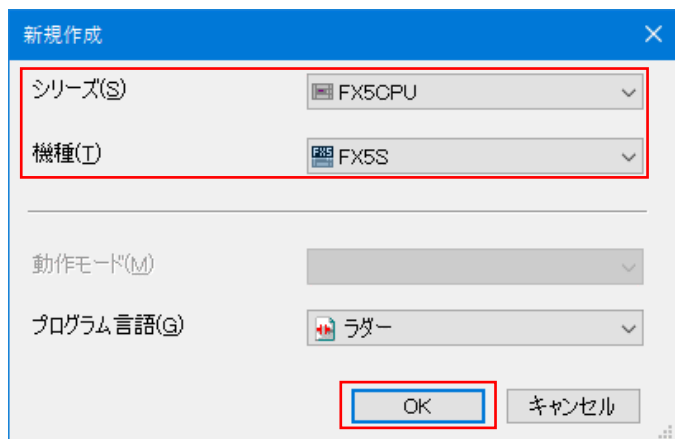


9. " はい" を選び CJ2M-CPU34 をリスタートします。

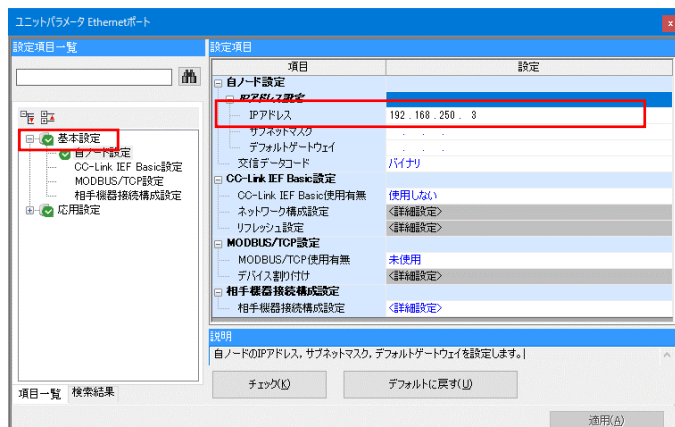
## 3 FX5S CPU ユニットの設定

GX Works3にて、MELSEC iQ-F シリーズ FX5S CPU ユニットのパラメータ設定を行います。

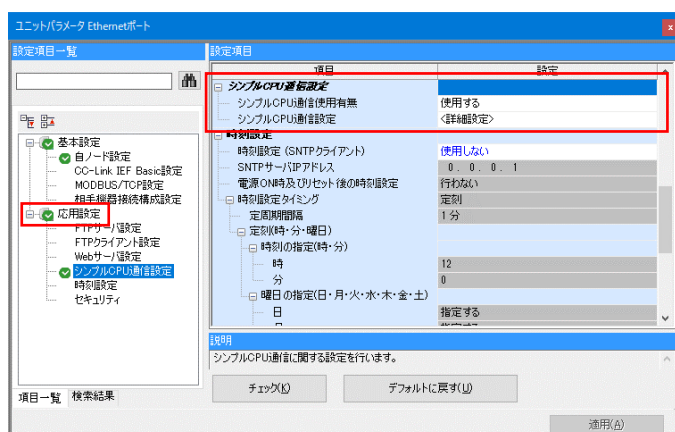
### 3.1 パラメータの設定



1. GX Works3 のメニューから、[プロジェクト]→[新規作成]を選択し、シリーズ、機種を設定後、[OK] ボタンをクリックします。



2. ナビゲーションウィンドウ内の[パラメータ]→[FX5SCPU]→[ユニットパラメータ]→[Ethernetポート]→[基本設定]をクリックします。
3. ” IP アドレス ” に ” 192.168.250.3 ” を設定します。



4. [応用設定]をクリックします。
5. シンプルCPU 通信使用有無を[使用する]に設定します。
6. シンプルCPU 通信設定の<詳細設定>をダブルクリックします。

設定項目

通信開始待ち時間  
通信開始待ち時間  s (0s~255s)

通信相手フィルタ  
全表示

設定 No.	通信パターン	交信設定: 実行間隔(ms)	交信相手 (IPアドレス)	
			転送元	転送先
1	読出	定期	100	設定してください
2				



<設定 No. 1>

交信相手設定

項目	設定
IPアドレス入力形式	10進数
機器種別	オムロン(CJ/CPシリーズ)
IPアドレス	192.168.250.2
TCP/UDP	UDP
ポート番号	9600
自局ポート番号	9600
オプション(16進数)	

OK      キャンセル

7. 設定 No. 1 の通信パターンを選択します。

通信パターン: 読出

8. 交信相手の転送元の[...]ボタンをクリックします。

9. 交信相手設定画面で下記のとおり設定します。

機器種別: オムロン(CJ/CPシリーズ)

IP アドレス: 192.168.250.2

自局ポート番号: 9600

10. [OK]ボタンをクリックします。

設定項目

通信開始待ち時間  
通信開始待ち時間  s (0s~255s)

通信相手フィルタ  
全表示  未設定行非表示

設定 No.	ビットデバイス						ワードデバイス						
	点灯	種別	先頭	最終	種別	最終	点灯	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終
1	16	WR	0	0	M	400	415	DM	10	10	D	110	110
2													

11. 交信相手と送受信するデバイスを下記のとおり設定します。

ビットデバイス						ワードデバイス					
転送元			転送先			転送元			転送先		
種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終
WR	0	0	M	400	415	DM	10	10	D	110	110

上記設定の”WR0”と”DM10”は、オムロン(CJ/CPシリーズ)の”WR0.00”と”D10”を指定していません。

設定 No.	通信パターン	通信設定: 実行間隔 (ms)	転送元	転送先
1	読込	定期	100 オムロン(CJ/CPX192.168.250.2)	自局(192.168.250.1)
2	書込	定期	100 自局(192.168.250.1)	設定してください



< 設定 No. 2 >

項目	設定
IPアドレス入力形式	10進数
機器種別	オムロン(CJ/CPシリーズ)
IPアドレス	192.168.250.2
TCP/UDP	UDP
ポート番号	9600
自局ポート番号	9601
オプション(16進数)	

OK      キャンセル

設定 No.	点数	ビットデバイス						ワードデバイス					
		種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終
1	16	WR	0	15	M	400	400	DM	10	10	D	100	100
2	16	M	0	15	WR	400	400	D	10	10	DM	100	100

12. 設定 No. 2 も No. 1 と同様に、通信パターン、交信相手を下記のとおり設定します。

通信パターン: 書込

機器種別: オムロン(CJ/CP シリーズ)

IP アドレス: 192.168.250.2

自局ポート番号: 9601

❖ **ポイント**

FX5 CPU ユニットとオムロン(CJ/CP シリーズ)をサンプルCPU 通信で接続する場合、自局ポート番号を重複して設定できません。設定 No. ごとに異なる自局ポート番号を設定してください。

13. 設定 No. 2 のデバイスを下記のとおり設定します。

ビットデバイス						ワードデバイス					
転送元			転送先			転送元			転送先		
種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終	種別	先頭	最終
M	0	15	WR	400	400	D	10	10	DM	100	100

上記設定の”WR400”と”DM100”は、オムロン(CJ/CP シリーズ)の”WR400.00”と”D100”を指定しています。

14. 設定後、[適用] ボタンをクリックします。

15. 設定したパラメータを CPU ユニットに書き込み、CPU ユニートをリセット、または電源を OFF→ON します。

## 4 動作確認

FX5S-30MT/ES と CJ2M-CPU34 がシンプル CPU 通信で正常に通信できるか動作確認を行います。

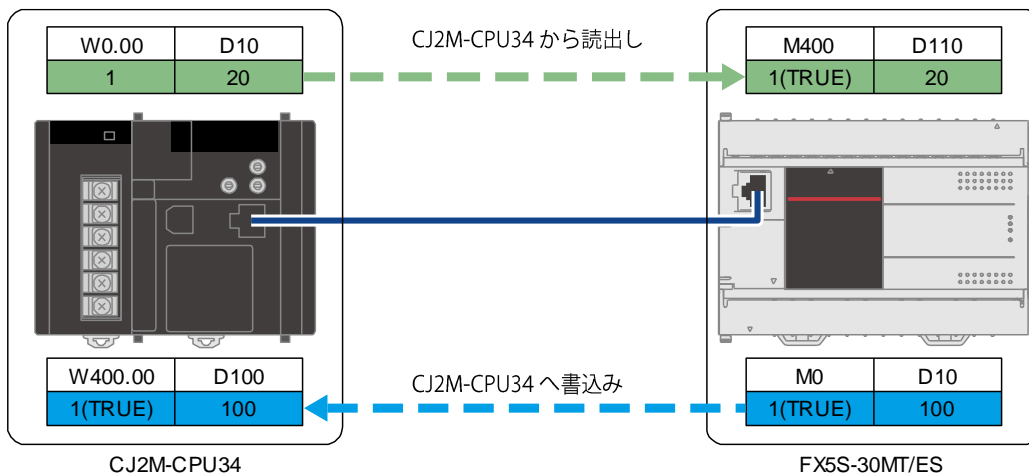
エラーが発生した場合は、下記マニュアルを参照してください。

- ・ MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(通信編)のトラブルシューティング
- ・ SYSMAC CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編のトラブルシューティング

### 4.1 動作例

FX5S-30MT/ES と CJ2M-CPU34 で定期的に指定のビットまたはワードデバイス値を送受信します。

GX Works3 のウォッチウィンドウと CX-Programmer のウォッチウィンドウを使用して、データが読み書きされていることを確認します。

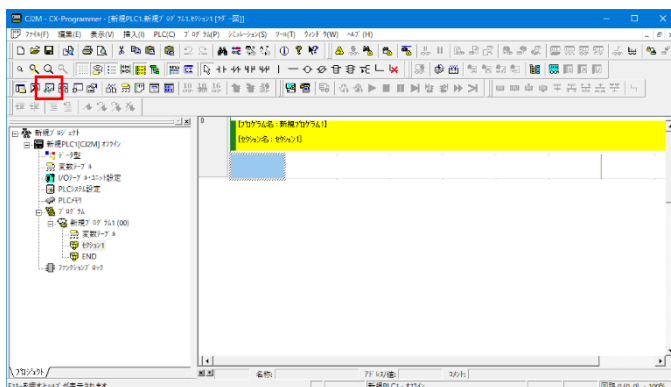


### 4.2 確認手順

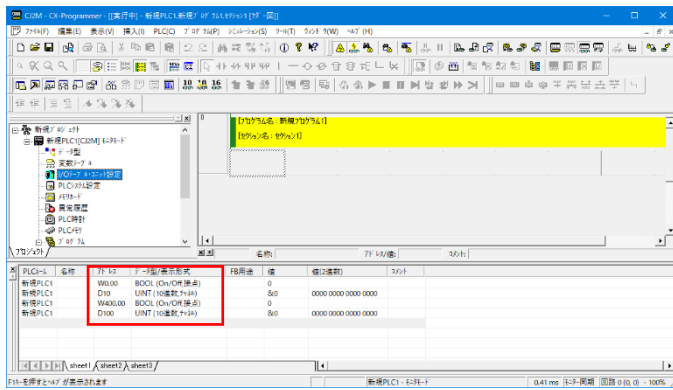
GX Works3 のウォッチウィンドウと CX-Programmer のウォッチウィンドウを使用して、デバイスの読出し/書き込みを確認します。

名称	現在値	表示形式	データ型
M400	--	2進数	ビット
D110	--	10進数	ワード[符号付き]
M0	--	2進数	ビット
D10	--	10進数	ワード[符号付き]

1. GX Works3 を起動して、[表示]→[ドッキングウィンドウ]→[ウォッチ 1]を選択し、ウォッチウィンドウを表示させます。
2. ウォッチウィンドウに M400, D110, M0, D10 を登録します。
3. [オンライン]→[ウォッチ]→[ウォッチ開始]を選択します。



4. CJ2M-CPU34 のプロジェクトでは、CX-Programmer のウォッチウィンドウにメモリを登録します。ツールバーの赤枠のアイコンをクリックしてウォッチウィンドウを表示させます。

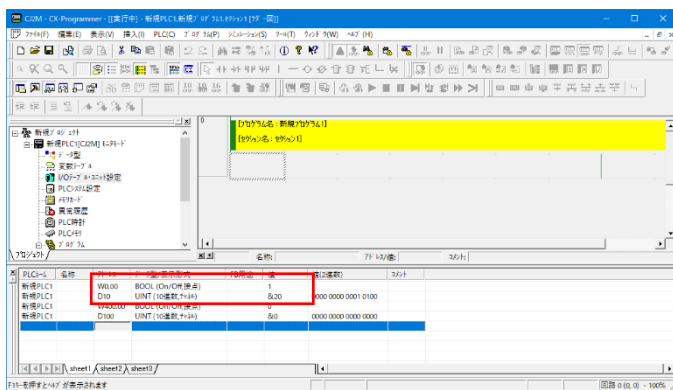


- ウォッチウィンドウにメモリを登録する際、下記のように登録します。
  - ・ 読出しメモリ:W0.00, D10
  - ・ 書込みメモリ:W400.00, D100

## ポイント

ウィンドウに設定するデバイスは、GX Works3 のシンプル CPU 通信設定で設定した範囲内にしてください。

### <GX-Programmer>



- CJ2M-CPU34 から FX5S-30MT/ES へのデバイスの読出しを確認します。  
本ガイドでは、GX-Programmer で W0.00 の現在値に”1”を入力し、D10 の現在値に”20”を入力します。

GX Works3 で M400 が”TRUE”, D110 が”20”となれば正常に読出しができています。

### <GX Works3>

名称	現在値	表示形式	データ型
M400	TRUE	2進数	ビット
D110	20	10進数	ワード[符号付き]
M0	FALSE	2進数	ビット
D10	100	10進数	ワード[符号付き]

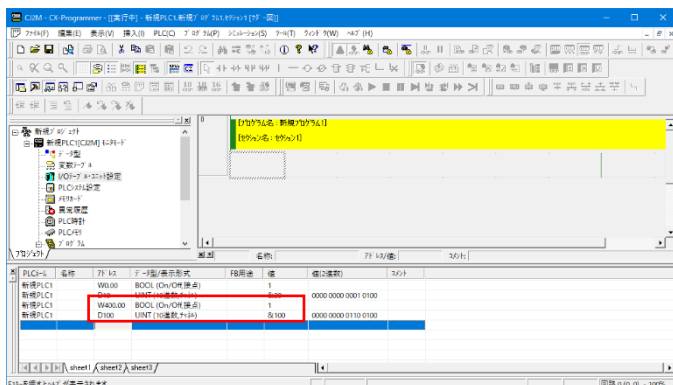
### <GX Works3>

名称	現在値	表示形式	データ型
M400	FALSE	2進数	ビット
D110	20	10進数	ワード[符号付き]
M0	TRUE	2進数	ビット
D10	100	10進数	ワード[符号付き]

- FX5S-30MT/ES から CJ2M-CPU34 へのデバイスの書込みを確認します。  
本ガイドでは、GX Works3 で M0 の現在値を”TRUE”にし(ウォッチウィンドウの[ON]をクリックします), D10 の現在値に 100 を入力します。

CX-Programmer で W400.00 が”1”, D100 が”100”となれば正常に書込みができています。

### <GX-Programmer>



## 改訂履歴

作成日時	副番	内容
2024年3月	A	初校作成

## 保証について

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- ・ MELSEC iQ-F FX5S/FX5UJ/FX5U/FX5UC ユーザーズマニュアル(ハードウェア編) [保証について]
- ・ ご使用のオムロン株式会社製 CP/CJ シリーズの取扱説明書

## 商標

本文中における会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。  
本文中で、商標記号は明記していません。



# 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問合せは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7(秋葉原アイマークビル)	(03)5812-1450
関東機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命新潟ビル8F)	(025)241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045)224-2624
北海道支社	〒060-0042	札幌市中央区大通西3-11(北洋ビル)	(011)212-3793
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア)	(022)216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076)233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビルヂング)	(052)565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪 タワーA)	(06)6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082)248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092)721-2247

三菱電機 FA

検索

[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)

メンバー  
登録無料!

## インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

### 電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号※7	対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号※7
自動窓口案内	052-712-2444	—	表示器 GOT	GOT2000/1000シリーズ MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417 4⇒1 4⇒2
エッジコンピューティング製品	052-712-2370※2	8	SCADA GENESIS64™/MC Works64	MELSERVOシリーズ	052-712-2962※2※6
MELSOFT MailLab				位置決めユニット(MELSEC IQ-R/Q/Lシリーズ)	1⇒2
MELSEC IQ-R/Q/Lシーケンサ(CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111	2⇒2		モーションユニット(MELSEC IQ-R/IQ-Fシリーズ)	1⇒1
MELSOFT GXシリーズ(MELSEC IQ-R/Q/L/QnAS/Ans)				モーションソフトウェア	1⇒1
MELSEC IQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271※3	2⇒1		シンプルモーションユニット	1⇒2
MELSOFT GXシリーズ(MELSEC IQ-F/FX)				シンプルモーションユニット	052-712-6607
ネットワークユニット(CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2578	2⇒3		モーションコントローラ/	
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator/MELSOFT Update Manager	052-799-3591※2		モーションCPU	1⇒1
iQ Sensor Solution				(MELSEC IQ-R/Qシリーズ)	
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ			センシングユニット(MR-MTシリーズ)	1⇒2
MELSEC/パソコンボード	Q80BDシリーズなど	052-712-2370※2		シンプルモーションボード/ポジションボード	1⇒2
WinCPUユニット/C言語コントローラユニット/C言語インテリジェント機能ユニット				MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ	1⇒2
MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット/高速データコミュニケーションユニット/OPC UAサーバユニット				センサレスサーボ	052-722-2182
システムレコーダ				インバータ	052-722-2182
MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセッサCPU/二重化機能 SIL2プロセッサCPU(MELSEC IQ-Rシリーズ)	052-712-2830※2※3		三相モータ	0536-25-0900※2※4
	プロセッサCPU/二重化CPU(MELSEC-Qシリーズ)			産業用ロボット	052-721-0100※5
	MELSOFT PXシリーズ			電磁クラッチ/ブレーキ/テンションコントローラ	052-712-5430※5
MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC IQ-R/QSシリーズ)	052-712-3079※2※3		低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ US-Nシリーズ
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	安全コントローラ(MELSEC-WSシリーズ)			低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/ 気中遮断器(ACB)など
FAセンサ MELSENSOR	レーザ変位センサ ビジョンセンサ コードリーダ	052-799-9495※2		電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電圧計器/管理用計器/ タイムスイッチ
				省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検針システム/ エネルギー計測ユニット/B/NETなど
				小容量UPS(5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/ FW-Fシリーズ

お問合せの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。なお、電話技術相談窓口の最新情報は、「三菱電機FAサイト」<[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa)>でご確認ください。

※1:春季・夏季・年末年始の休日を除く

※2:土曜・日曜・祝日を除く

※3:金曜は17:00まで

※4:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30

※5:受付時間9:00～17:00(土曜・日曜・当社休日を除く)

※6:月曜～金曜の9:00～17:00

※7:選択番号の入力は、自動窓口案内頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認の回答後にお願いいたします。

※8:日曜を除く



三菱電機のe-FactoryコンセプトはFA技術とIT技術を活用して開発費用の削減、生産性の向上および保守の改善により「一歩先を行く」ものづくりを目指すことです。このコンセプトはe-Factory アライアンスパートナーによってサポートされ、ソフトウェア、機器とシステムインテグレーションを包括し最適化されたe-Factoryアーキテクチャにより、エンドユーザーのニーズと、より合理的な投資プランを満たします。

